個人成果報告

山口春平

C3　チームにんじん戦線

全体に関して

・研修以前

大学３年頃からプログラミングに興味がありました。

イベントで知り合った学生プログラミングコミュニティの代表に誘われ、短期間ですがプログラミングの独学などをしていました。教材はプロゲートを用いて、とっかかりやすいWEBプログラミング分野を中心に学習しました。

そのタイミングで、営業職として勤務していたインターン先企業から、WEBサイト作成の人手が少し足りないと言われたので、その場で立候補し、初めて本格的なWEBサイトの作成に関わりました。LPやHP制作を３つほど経験し、それまでは漠然としていた「プログラミングを使った仕事」に対する解像度が高くなりました。

・４－６月の課題と解決策

フロントエンド系言語に関しては経験があったため、難なく学習できました。

しかし初めて触れたjavaに関して、構文の意味やファイルの役割、記載内容などの理解が追い付かず苦戦しました。しっかり復習する時間が確保できなかったこと、配布されたひな形の引数のみ変更すれば動作することから、分からない部分をそのまま放置した状態で成果物を完成させ、６月のグループ研修に臨みました。

そのため、分業体制をとった際に自分のところで作業進捗が遅れ、グループ全体の足を引っ張ることがありました。６月後半は機能実装に関わる知識が蓄積されて分かる部分も多く、開発が楽しいと感じるほどになりましたが、機能面での作業はほぼ完了していたので理解を深めることはできませんでした。

・7月以降の目標

７月以降の社内研修では、３か月間の研修で得たプログラミングへの興味を発揮し、「技術的成長」に重点を置いて仕事に取り組んでいきたいと思います。

以下、毎朝行われた数分間の個人発表会の改変原稿抜粋

6月WEBアプリ開発コースを経て成長したこと

（6月29日のコミュニケーションタイム）

４週目

PLUSDOJOで学んだこと、受講前と受講後で変わることができた部分

①

では、発表を始めさせていただきます。

②

私がこの研修で学んだこと、受講前後で変わることができた、成長できた部分は、２つあります。

１，プログラミングへの浅い理解と深い興味

２，行動力

具体的にどういうことなのか研修を受ける前と後の変化に注目してご説明します。

③

まず１つ目です。研修前のプログラミングへの興味に関してですが、プログラミングを扱う仕事を選んでおきながら実はそれほど高くありませんでした。大学生のときにプロゲートでの学習とインターンでwebサイトを３つくらい作ったことがありました。このとき、プログラミングってこういう感じなのか少し面白い、と感じた程度でした。

④

この経験のおかげもありまして４月の研修は難なくクリアできましたがバックエンドサーバーサイドが入ってきた５月６月前半は非常に苦労しました。しかし６月後半になってくると各ファイルが理解できるようになってきて、機能実装を楽しんで行えるようになってきましたが、この時には機能実装はほぼ完了して、画面設計に移行していました。そのため現状、残ったものとしてはプログラミングへの浅い理解と、もっと開発してみたい！という深い興味でした。

続きまして

⑤

この研修で学んだこと２つ目が行動力です。この３か月間の研修を通して、プログラムが正常に動作したときや名刺管理アプリの発表で満足できたとき「楽しい」「おもしろい」と感じた、

⑥

ですがそれ以上に強く「楽しい」「おもしろい」感じた瞬間が人と関わってなにかをしている時です。

名刺管理アプリを１人で完成させたときよりも、この前ふみさんがCSSについて質問くれたと思います。テーブルのTDタグに囲まれた文字を横向きにしたいのに縦に並んじゃってる。あれを解決した時のほうが「おもしろい」とか「楽しい」っていう感情は強く感じたように思います。

この先も「楽しい」「おもしろい」を感じる機会を増やすにはどうしたいいのかと考えた時に、Cクラスでできた繋がりを絶やさず継続させることで、人と関わる機会っていうのを増やすことができる、そのためには連絡手段がないといけないのでlineグループつくろう、思いつきまして、これを実現するために行動しました。

コロナになってからはこういう新しい人と関わりをもつ、ということに消極的で今いる友達だけでいいやーという感じだったので、この研修を通して、積極的に人と関わる機会を行動力を持って作ったというところで研修前後で成長できた点かなと思います。

発表に関して、明日がついに本番ですが、気張らずに自分たちらしく楽しんで発表を終えられたらいいなあと思っています。そして７月以降も何か機会はつくりますので、変わらず関わっていただければ嬉しいです。以上です

5月を終えたころに感じた課題

（名刺管理アプリで感じた課題内容＋6月2日あたりで発表したコミュニケーションタイムで設定した目標）

■メリハリの話

今まではコンディションを考えず、趣味やアルバイトなどやりたいことを優先するようにしてきました。友人に話すと「体力お化けだね」と言われていたので、自分は体力があるんだと過信し、今回少し痛い目を見ました。

健康管理はなにより重要なことだと痛感致しましたので、オンオフの切り替えを徹底し日々安定した作業品質をあげられるよう、今から精進します。

■プログラミングのコツ

矢澤講師は実習のたびに、プログラミングのコツを説いてくださったので、

実行前に予想する→予想通りならガッツポーズ、という流れは習慣化しつつあります。

これは継続しながら予想が外れた後の柔軟性、対応力についても意識して養っていきます。

■プログラミングの可読性

この点はメリハリと同様、自分の大きな課題だと考えています。

講師の方、友人などに尋ねたところ、一様に「慣れ」と言っていました。

そのため、実習以外で自由にプログラムに触れる時でも、見やすく分かりやすいソースコードを意識しながら手を動かそうと思います。

■成果物

javaでの実装は時間的余裕がなく諦めましたが、そのおかげでWEBプログラミングへの理解が深まり、自信につながりました。

6月の各フェイズで感じたこと

内部設計

6月１週目のコミュニケーションタイム

1週目

内部設計

発表を始めさせていただきます。

要件定義から内部設計までで大切だと思ったこと、ということでしたが、私たちが経験した要件定義、外部設計について改めて思ったことを発表するのもイイと思いましたが、せっかくなら、チームにとって有益な情報であったり今後のためになることを共有したいと考えまして、未知の敵「内部設計」について、考えていきたいと思います。

この発表の主旨としては、内部設計を決めるうえで課題になりそうな点の改善策を先に考える　→　この先よりスムーズな進行が可能になる。

では本題に入りますが、まず外部設計までの問題を確認したいと思います。

要件定義、外部設計までの問題　→　認識のそご

書く内容はすぐに思い付くが内容の相違があった、その照らし合わせに時間を要した

そしてこれからとりかかる内部設計からの問題

→設計した機能や画面の実装方法が分からない、書く内容が思い付かず時間を要する、こういった点に苦労するんじゃないかと考えました。

解決策として、講義で紹介されたものをまとめるとこのようになりますが、

正直自分の小さい脳みそでは理解できませんでした。

そのためネットに転がっている知識を集めまして、解決策というかスムーズに内部設計を行うにはこの２点が必要であると分かりました。１のプログラミング知識に関しては、一石一鳥でなんとかできるものではないので、今回は内部設計作成の手順について簡単にまとめました。

このようになっております。

１つ目が機能の細分化です。例えば目標一覧機能ですが、これを細分化すると目標データの取得機能、取得した目標データの表示機能、表示データの編集機能、など因数分解していってそれ以上分解できなくなるまで機能を細分化してから、実装方法を考えていくと、最初から複雑なものを実装していくよりも実現難易度が低くなると思います。

２つ目が名刺管理アプリの流用です。単純に１からつくる方が力にはなりますが、講師の方々皆様仰っていました、分からないときは答えを見ろと、じゃあ答え見てやろうということで名刺管理アプリのDAO、BEANS、Servlet、JSPの構造関係　→　データのやりとり方法なんかをもってきて、そのままではもちろん機能しないので該当部分を合うように変えて組み込んでいければと思います。

実装工程

6月２週目のコミュニケーションタイム

2週目

チームでの実装工程において大切だと思ったこと

[プログラミングの設計の流れは？設計の9つの流れと役立つツール5選 – IT業界、エンジニア、就活生、第二新卒、転職者、20代向け情報サイト (acrovision.jp)](https://www.acrovision.jp/career/?p=2502)

①

発表を始めさせていただきます。

②

私がチームでの実装工程において大切だと思ったことは、２つあります。

1つ目が「何が問題なのかを明確化する」

2つ目が「情報共有を密にする」です。

⓷

１つ目の「何が問題なのかを明確化する」ですが、チームでの実装工程でもそうですが私個人も課題に感じています。特に昨日の作業です。

④

Beans作成、DAO作成と予定していたので、なんとなくどういう作業をするのか事前に調べて臨みました。しかし早々になにをどうすればいいのか分からなくなり、目の前に並ぶ構文が敵に見えてきました。

⑤

完全に手が止まってしまい渡邉さんには迷惑をかけてしまいましたが、少なくとも、最低でも、すぐに私がやるべきだったのが「何が問題なのかを明確にする」こと、何によって進めなくなっているのかを明らかにすることでした。

⑥

これを今から意識して行い習慣化することで、自分の作業が滞ることはなくなるし、チームで動いていて作業が停滞したときに打破するきっかけを作れるかもしれないと考えました。

⑦

２つ目は「情報共有を密にする」です。この「情報共有」とは自分から情報を伝えるだけでなく相手から情報を得る、ということも含めて考えています。

情報共有を大切にすることが大切ということは、今まで行ってきた２か月半の研修のいたるところで感じました。例を挙げるとキリがないので結論だけ申しますと、１人で少し考えて答えが出ないものはすぐに分かる人に聞くべきだと今は考えています。

⑧

この「少し」というのはだいたい３分くらいを目安にしています。今までの自分でしたらもっと時間をかけてネット検索など駆使しながら色々な情報を精査しながら自力で解決する方が、「自分１人で解決する力」というのを養えるからそっちのほうがいいのではないか、と考えてやっていました。しかしこの研修を経て、この仕事は完全に１人で何かする、ということはほぼないということ、

⑨

そしてプログラミングの知識も経験もほぼない、素人に毛が生えた程度の自分に分かることなんてこれもまたほぼない、考えるだけ時間の無駄であると分かりましたので、「情報共有を密にする」これを習慣化できるよう努めていきたいと思います。

7月以降の目標

6月３週目のコミュニケーションタイム

３週目

７月以降の業務に関わる目標

①

では、発表を始めさせていただきます。

②

私の７月以降の目標は１つだけ。ズバリ「体調管理」です。

⓷

この目標をたてた理由としましては、

1つ目が「7月以降の具体的な動きが分かっていないから」

2つ目が「この仕事は長距離走、マラソンのようなものだと感じているから」

１つ目に関しては文字通りの意味です。例えば、この業務でこのくらい成果を出す！というような、業務に対して分かりやすい目標がたてにくいので、どんな仕事でも当てはまって、どんな仕事でも重要そうな目標がよさそうだ！と考えました。

２つ目に関しては、特に名刺管理アプリを開発した後に強く感じました。

④

名刺管理アプリを開発していた終盤ですが、実装したいプログラムが思うように動作しない！でも期限も残り僅か、、、

こういった状況下でも、諦めずにギリギリまで粘って、納得のいく成果物を挙げられましたが、頑張った分の反動は、「疲れ」や「モチベーションの低下」という形で後からのしかかりました。

⑤

１つのプロジェクトが長くなりがちな、長距離走のようなこの仕事では、

⑥

頑張るところと、力を抜くところの、メリハリの波を上手にコントロールして、

日々安定した作業品質をあげていくことが理想だと考えています。

⑦

そのため、十分な休息を取り心身を健康に保つということは、

社会人として長く活躍するのに重要なスキルです。

⑧

社会人になりたての今から体調管理を意識して生活することで

万全の状態をできるだけ長く維持しながら長距離走を走り切れると思います。

⑨

その万全の状態をつくるべく、現時点での理想を考えましたが、なかなかこうはいかないので、７月からは平日休日関わらず３食栄養バランスの良い食事をとる、最低でも７時間寝る、過度なランニングは控えて健康を意識した運動量をこなす、こういった基本的なところから行っていこうと思います。

⑩

ご清聴ありがとうございました。